

## 五所川原市総合計画

### 第 3 部

# 人口減少対策 プロジェクト

#### — まち・ひと・しごと創生総合戦略 —

基本構想で掲げる重点戦略と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、ともに人口減少対策としての施策をまとめた計画で、まちづくりの方向性が合致したものであることから、後期基本計画においては、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を「人口減少対策プロジェクト」として位置付けます。

# Ⅰ 若者の定住促進プロジェクト

本市が目指す「活力ある」まちづくりを進めるためには、地域の経済や産業、コミュニティ等を支える担い手が、年齢階層別にしっかりと確保されている必要があります。

しかし、近年は、少子高齢化に伴う人口減少が著しく、地域社会を維持・発展させていくためには、将来を担う若者の定住促進が喫緊の課題となっています。

このため、若者が夢と希望を抱くことのできる就業先の確保や快適に暮らすことのできる居住環境の整備、そして、子どもを安心して育てることのできる支援策の充実を図ります。

## 【基本目標】

指 標	基準値（年度）	目標値（年度）	根拠資料
総人口に占める年少人口及び生産年齢人口の割合	68.2% (H27年度)	68.2% (R7年度)	国勢調査
合計特殊出生率	1.34 (H22年度)	現状より増加 (R7年度)	人口動態統計

- Ⅰ-Ⅰ 若者の就業・起業創造プロジェクト
- Ⅰ-Ⅱ 快適居住環境整備プロジェクト
- Ⅰ-Ⅲ 子育て・子育て全力応援プロジェクト
- Ⅰ-Ⅳ まちへの愛着と誇りづくりプロジェクト

## 1-1 若者の就業・起業創造プロジェクト

基幹産業である農林水産業については、先端技術を活用したスマート農業の導入促進に向けた生産基盤の整備や新規就農者への支援、新たな販路開拓・拡大に向けた取組、特産品のブランド化等を行うことで、若者にとって魅力ある農林水産業を実現し、これにより次代の担い手を確保します。

また、起業・創業を希望する若者に対して、事業承継の仕組みづくりや空き店舗、空き工場の情報提供など総合的な支援を実施します。

### 【プロジェクトを構成する主な施策】

主要施策	主な取組内容
1-1 生業（なりわい）として魅力のある農林水産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマート農業の普及に向けたGPS基地局等の設置</li> <li>・新規就農者の確保・育成</li> <li>・高収益作物の導入による複合経営の推進</li> <li>・新たな販路の開拓・拡大に向けた各種見本市やイベント等への出展</li> <li>・「赤〜いりんご」など特産品のブランド化の推進</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
1-3 地域産業の活性化に向けた支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創業支援体制の充実</li> <li>・事業承継に関する支援体制の構築</li> <li>・ソーシャルビジネスプロジェクトの支援</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

### 【重要業績評価指標（KPI）】

指標	基準値（年度）	目標値（年度）	根拠資料
認定新規就農者数【累計】	25人 (H30年度)	75人 (R6年度)	農林水産課
スマート農業導入経営体数【累計】	3件 (H30年度)	8件 (R6年度)	農林水産課
創業相談ルーム・セミナー利用者のうち創業実現件数【累計】	27件 (H27～H30年度)	30件 (R2～R6年度)	商工労政課

## 1-2 快適居住環境整備プロジェクト

市民・移住者ともに「住んでみたい・住み続けたいまちづくり」に向け、高速交通網の整備や新たな公共交通システムの構築、雪に強いまちづくり、憩いの場としての公園整備、安全・安心な住宅の確保、道路や上下水道等の社会インフラの充実など、快適な居住環境の整備を推進します。

### 【プロジェクトを構成する主な施策】

主要施策	主な取組内容
5-1 利便性が高く、人口減少時代に対応した都市基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高速交通網の整備促進</li> <li>・予約型乗合タクシーの導入など、多様な交通資源を活用した新たな交通ネットワークの構築</li> <li>・五所川原駅前を中心にまちづくりと連動した公共交通網の構 造 など</li> </ul>
5-2 安全・快適な生活環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会や民間事業者と連携した高齢者世帯の除雪支援や通学路の安全確保</li> <li>・民間委託事業者と連携した効率的かつ迅速な除排雪の実施</li> <li>・安全・安心で快適な公園整備</li> <li>・老朽化した道路等の効率的な修繕及び橋梁の計画的な更新</li> <li>・民間住宅の耐震化支援など安全・安心な住まいの確保 など</li> </ul>
6-2 行財政改革の推進及び移住・定住促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住者の受入環境の充実</li> <li>・移住希望者への効果的な情報提供 など</li> </ul>

### 【重要業績評価指標（KPI）】

指 標	基準値（年度）	目標値（年度）	根拠資料
予約型乗合タクシー等の導入件数【累計】	0件 (H30年度)	3件 (R6年度)	地域公共交通網形成計画
社会増減 (転入数と転出数の差)	△478人 (H30年度)	△390人 (R6年度)	青森県の推計人口年報

## 1-3 子育て・子育て全力応援プロジェクト

結婚から妊娠、出産、子育てまで切れ目のない総合的な支援と多様なニーズに応じた教育・保育サービスの充実を図るとともに、地域全体での子育て支援体制を推進することで、誰もが子育てに希望と喜びを持てる社会の実現を目指します。

また、一人一人の個性や能力に応じたきめ細やかな学校教育の充実を図ることで、子育て支援体制の強化に努めます。

### 【プロジェクトを構成する主な施策】

主要施策	主な取組内容
2-2 子ども・子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠期から子育て期にわたる総合的支援</li> <li>・子どもの医療費や学校給食費等の支援制度の充実</li> <li>・「病児保育」等の実施の支援</li> <li>・ファミリー・サポート・センターの拡充に向けた提供会員の確保</li> <li>・ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組の推進など</li> </ul>
3-1 一人一人の個性・能力を伸ばす学校教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーや適応指導員等の専門的人材の確保</li> <li>・ICT教育環境の整備</li> <li>・学校教育支援員の配置などによる学習支援の充実</li> <li>・外国語教育、情報モラル教育、キャリア教育の推進</li> <li>・いじめ防止対策の推進など</li> </ul>
3-2 学校・家庭・地域の連携推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校支援コーディネーターの育成・確保</li> <li>など</li> </ul>
4-2 地域ぐるみによる防犯・交通安全対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全運動、街頭交通指導の実施</li> <li>など</li> </ul>

### 【重要業績評価指標（KPI）】

指標	基準値（年度）	目標値（年度）	根拠資料
ファミリー・サポート・センター提供会員数【累計】	170人 (H30年度)	180人 (R6年度)	子育て支援課
自己に対する肯定的な評価が高い児童生徒の割合	小学校 43% 中学校 31% (H30年度)	小学校 50% 中学校 40% (R6年度)	学校教育課
学校支援コーディネーター配置小学校数	4校 (H30年度)	11校 (R6年度)	社会教育課

## 1-4 まちへの愛着と誇りづくりプロジェクト

郷土に対する誇りや愛着の醸成に向けて、地域活動団体や地元企業等との連携を図り、地域の産業や歴史・文化、自然等について学習・体験する機会の充実に努めます。

また、多様化・複雑化する市民ニーズに的確に対応するため、世代や立場を超えた市民との意見交換会の定期的な開催や地域課題解決のために自主的活動を行う市民団体等との連携を強化します。

### 【プロジェクトを構成する主な施策】

主要施策	主な取組内容
3-2 学校・家庭・地域の連携推進	・地域産業や歴史、伝統文化等を学ぶ機会の充実 など
3-4 芸術・文化活動の推進と郷土芸能の継承	・学校と地域の連携による郷土芸能の保存 など
6-1 市民協働によるまちづくりの推進	・市民団体が自主的・自発的に行う活動の支援 ・住民懇談会等の開催 ・地域づくり活動を担うNPO法人等の組織化や活動を牽引するリーダーの育成・確保 など

### 【重要業績評価指標（KPI）】

指標	基準値（年度）	目標値（年度）	根拠資料
市のまちづくりの取組や財政状況に関心がある市民の割合（関心がある＋少し関心がある）	80.6% （H29年度）	82.0% （R5年度）	市民意識調査

## 2 交流倍増プロジェクト

全国的に少子高齢化が進行する中で地域を活性化していくためには、本市を観光等で訪れる交流人口や地域と多様に関わる関係人口<sup>※</sup>の増加を図ることが重要です。

本市は青森県西北地域の交通の要衝として、また、産業の交流地点として発展してきた歴史的背景があることから、その強みを生かしながら、通勤・通学や買い物、文化スポーツ活動といった生活圏内での交流や、ビジネス、商業輸送、観光といった生活圏外からの交流など、様々な目的を持った人々が本市を訪れ多様な交流活動がなされるまちづくりを推進します。

### 【基本目標】

指 標	基準値（年度）	目標値（年度）	根拠資料
昼夜間人口比率	101.2% (H27年)	102.0% (R7年度)	国勢調査
ふるさと納税者数	17,946人 (H30年度)	34,000人 (R6年度)	総務課

- 2-1 観光誘客・おもてなしプロジェクト
- 2-2 産業・ビジネス交流プロジェクト
- 2-3 地域間交流プロジェクト
- 2-4 交流拠点・基盤整備プロジェクト

※ 関係人口：移住でも観光でもなく、地域や地域の人々と多様に関わる地域外の人々のこと。

## 2-1 観光誘客・おもてなしプロジェクト

幅広い観光ニーズに対応するため、この地域ならではの観光資源や魅力を効果的に発信していくことに加え、観光施設や宿泊施設等といった観光客が来訪する機会が多い施設の従業員に対するおもてなし意識の啓発やキャッシュレスサービスの導入促進など受入環境を整備することにより、国内外からの誘客を促進します。

また、雪国という地域特性などを生かした、この地域ならではの新たな観光コンテンツの創出に取り組みます。

### 【プロジェクトを構成する主な施策】

主要施策	主な取組内容
1-2 四季を通じた五所川原の魅力の創出と発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雪国という地域特性を生かした着地型観光の推進</li> <li>・観光施設や宿泊施設等といった観光客が来訪する機会が多い施設の従業員に対するおもてなし意識の啓発</li> <li>・市街地や交通機関の表示の多言語化の推進・キャッシュレスサービスの導入促進</li> <li>・マスメディアやSNS等を活用した効果的な情報発信など</li> </ul>

### 【重要業績評価指標（KPI）】

指標	基準値（年度）	目標値（年度）	根拠資料
観光入込客数	588千人 (H30年)	640千人 (R6年)	青森県観光入込客統計
ホテル等の宿泊者数	105千人 (H30年)	131千人 (R6年)	観光物産課

## 2-2 産業・ビジネス交流プロジェクト

ICTを活用したスマート農業の展開や高収益作物を導入した複合経営への転換による若者の農業参入の拡大やグローバルGAP等の国際認証制度を取得する生産者等が増加することによる本市への来訪者の増加に加え、立佞武多をはじめとする豊富な観光資源の更なる活用、グリーン・ツーリズムやサイクリングといったニューツーリズムとの連携による国内外からの旅行者等との交流促進に向けた取組を推進します。

また、地域産業の活性化に結びつく地元農林水産物を活用した商品を販売する中小企業・小規模事業者に対する支援を行うほか、地域と誘致企業との交流・連携の場を設けることにより、新たなビジネス展開を促進するとともに、地域の強みを生かす事業に取り組もうとする企業の立ち上げを関係機関と連携して支援します。

### 【プロジェクトを構成する主な施策】

主要施策	主な取組内容
1-1 生業（なりわい）として魅力のある農林水産物の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTを活用したスマート農業の推進</li> <li>高収益作物の導入による複合経営への転換</li> <li>グローバルGAP等の国際認証制度やGI（地理的表示保護制度）の取得推進</li> <li>グリーン・ツーリズム関係団体等との連携による国内外からの旅行者等との交流促進 など</li> </ul>
1-2 四季を通じた五所川原の魅力の創出と発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民が楽しみ支える市民参加型の立佞武多の実現</li> <li>サイクリング等をはじめとするニューツーリズムとの連携による観光振興 など</li> </ul>
1-3 地域産業の活性化に向けた支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元農林水産物を活用した商品を販売する中小企業</li> <li>小規模事業者に対する支援 など</li> </ul>
1-4 新たな産業の創出・企業誘致と雇用対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>誘致企業と地域企業との連携による新たなビジネス展開の促進</li> <li>地域の強みを生かす事業に取り組む地域企業の立ち上げを支援 など</li> </ul>

### 【重要業績評価指標（KPI）】

指標	基準値（年度）	目標値（年度）	根拠資料
グローバルGAP取得件数 【累計】	4件 (H30年度)	9件 (R6年度)	農林水産課

## 2-3 地域間交流プロジェクト

津軽地域を中心として他の市町村等との地域間連携による広域観光を推進するほか、台北線定期便就航を好機とした鉄道・フェリー・航空を組み合わせた「立体観光」により、北海道道南エリアとの広域連携を推進します。

また、立佞武多の館美術展示ギャラリーにおける地域に関連した特別企画展や太宰治生誕の地としての関連イベント等の開催により、市内外との交流促進を図ります。

### 【プロジェクトを構成する主な施策】

主要施策	主な取組内容
1-2 四季を通じた五所川原の魅力の創出と発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>台湾をはじめとする東アジアへのインバウンド誘客の促進</li> <li>教育旅行の誘致</li> <li>他地方公共団体等との地域間連携による広域観光の推進 など</li> </ul>
3-4 芸術・文化活動の推進と郷土芸能の継承	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと交流圏民センターや立佞武多の館美術展示ギャラリー等を活用した芸術</li> <li>文化の鑑賞機会の充実・太宰治生誕の地として、関連するイベント等の開催 など</li> </ul>

### 【重要業績評価指標（KPI）】

指標	基準値（年度）	目標値（年度）	根拠資料
立佞武多の館の教育旅行受入件数	33件（校） （H30年度）	38件（校） （R6年度）	観光物産課
立佞武多の館美術展示ギャラリーの入館者数	11,348人 （H30年度）	19,000人 （R6年度）	社会教育課

## 2-4 交流拠点・基盤整備プロジェクト

立佞武多や斜陽館といった豊富な観光資源の更なる活用を図るため、幅広い観光ニーズに応じた観光施設の整備・充実を図るとともに、スマートフォンなどによる位置情報を活用した観光案内ツールの導入や公共施設における公衆無線LANサービスの拡充を図ります。

また、生涯学習・スポーツ活動の拠点施設の計画的な整備に努めます。

### 【プロジェクトを構成する主な施策】

主要施策	主な取組内容
1-2 四季を通じた五所川原の魅力の創出と発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光施設の整備・充実</li> <li>・スマートフォンなどによる位置情報等を活用した観光案内ツールの導入</li> <li>・公共施設における公衆無線LANサービスの拡充など</li> </ul>
3-3 生涯学習・スポーツの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習・スポーツ活動の拠点施設の計画的な整備など</li> </ul>

### 【重要業績評価指標（KPI）】

指標	基準値（年度）	目標値（年度）	根拠資料
立佞武多の館の有料入館者数	111千人 (H30年)	138千人 (R6年)	観光物産課
太宰治記念館「斜陽館」の有料入館者数	71,087人 (H30年)	80,000人 (R6年)	社会教育課

### 3 元気・健康づくりプロジェクト

健康維持のためには、自らの健康は自らで守るという意識を高め、一人一人が健康づくりに取り組むことが重要です。

また、急速な少子高齢化、人口減少等により、世帯構造の変化や地域コミュニティの希薄化が生じることで、地域社会そのものの維持が困難になるおそれがあることから、地域住民が健康でこころ豊かに暮らしていくことができるよう、地域住民が支え合いながら暮らし続けることのできる「地域共生社会」の実現や、自殺対策などこころの健康を守るための施策を展開することで、健康長寿のまちづくりを推進します。

#### 【基本目標】

指 標	基準値（年度）	目標値（年度）	根拠資料
平均寿命	男 78.5歳 女 86.0歳 (H27年)	全国平均との 差を縮小 (R7年)	厚生労働省生命表

3-1 食育・生活習慣改善プロジェクト

3-2 こころの健康増進プロジェクト

3-3 保健・医療・福祉(ライフ)分野連携・振興プロジェクト

## 3-1 食育・生活習慣改善プロジェクト

健康づくりや疾病予防に対する正しい知識の普及と栄養バランスのとれた食生活、休養、適度な運動という生活スタイルの習慣化を進めるため、関係団体と連携を図るとともに、生活習慣病の発症予防と重症化予防につながる取組を実施します。

また、乳幼児期から高齢期までの各ライフステージに応じた食育活動を行うとともに、スポーツイベント等の開催やスポーツ教室の充実に努めることで、運動する機会を創出し、健康の保持増進につなげます。

### 【プロジェクトを構成する主な施策】

主要施策	主な取組内容
2-1 健康づくり・地域医療体制の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフステージに応じた健康づくり教育や生活習慣改善に向けた啓発を通じた健康意識の向上</li> <li>・乳幼児期から高齢期までの各ライフステージにおける望ましい食習慣の実践に向けた栄養士等による情報提供や各種教室の開催</li> <li>・がん、循環器疾患、糖尿病等の生活習慣病の発症予防と重症化予防の推進</li> <li>・各種健康診査・検診の受診環境の向上</li> <li>・健康運動指導士、保健協力員、食生活改善推進員等と連携した運動教室や栄養教室等の開催を通じた健康づくりや食育の推進 など</li> </ul>
3-1 一人一人の個性・能力を伸ばす学校教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒への食育指導や学校給食の充実 など</li> </ul>
3-3 生涯学習・スポーツの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員等と連携したスポーツ体験イベント等の開催やスポーツ教室の充実 など</li> </ul>

### 【重要業績評価指標（KPI）】

指標	基準値（年度）	目標値（年度）	根拠資料
特定健康診査受診率	32.2% (H30年度)	60.0% (R6年度)	第3期特定健康診査等実施計画
がん検診受診率（胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん及び乳がん検診の平均受診率）	17.4% (H30年度)	50.0% (R6年度)	健康増進計画「第2次健康ごしよがわら2I」
日頃、健康増進のための取組をしている市民の割合	25.0% (H30年度)	36.5% (R6年度)	健康増進計画「第2次健康ごしよがわら2I」

## 3-2 こころの健康増進プロジェクト

市民一人一人がかけがえのない命を大切に、子どもから高齢者まですべての市民が、住み慣れた地域でこころ豊かに暮らせるよう、いじめ、自殺、虐待、暴力等の発生を予防するとともに、身近な人が気づき、支え合うことができる地域づくりを推進します。

### 【プロジェクトを構成する主な施策】

主要施策	主な取組内容
2-1 健康づくり・地域医療体制の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族や同僚、地域住民に対する自殺予防のための知識の普及</li> <li>・ゲートキーパーとしてのスキルを身に付ける学習機会の充実</li> <li>・小中学生に対する「SOSの出し方教育」の実施 など</li> </ul>
2-2 子ども・子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て家庭の不安解消や孤立防止を図るための支援策の実施 など</li> </ul>
2-4 高齢者福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の閉じこもり防止に向けた「通いの場」の設置 など</li> </ul>
3-1 一人一人の個性・能力を伸ばす学校教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、家庭、地域が一体となったいじめ防止対策の推進 など</li> </ul>
4-3 人権擁護の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や介護者が交流できる場の充実や相談支援体制の充実 など</li> </ul>

### 【重要業績評価指標（KPI）】

指標	基準値（年度）	目標値（年度）	根拠資料
自殺死亡率 (人口10万人当たりの自殺者数)	25.1 (H30年度)	15.0以下 (R6年度)	いのち支える自殺対策計画
閉じこもりリスク高齢者の割合	25.1% (H30年度)	25.1% (R6年度)	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
「学校に行くのが楽しい」と回答した児童生徒の割合	小学校 85% 中学校 83% (H30年度)	小学校 90% 中学校 90% (R6年度)	学校教育課

### 3-3 保健・医療・福祉(ライフ)分野連携・振興プロジェクト

人口減少と高齢化が進む中で、健康で生きがいのある長寿社会を築くため、高齢者が長年培ってきた技術や知識等を地域活動に生かす取組を支援するとともに、子どもから高齢者まですべての市民が、地域で支え合いながら共に生きることができるよう、保健・医療・福祉の一体的な基盤づくりを推進します。

#### 【プロジェクトを構成する主な施策】

主要施策	主な取組内容
2-1 健康づくり・地域医療体制の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>つがる総合病院の医療機能の強化</li> <li>弘前大学や県等と連携した医師確保 など</li> </ul>
2-4 高齢者福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>理学療法士や栄養士、保健師等の専門職と連携した介護予防を担う地域リーダー等の人材育成</li> <li>高齢者が培ってきた技術や知識等を地域活動に生かす取組を支援</li> <li>医療・介護・予防・住まい・生活支援を切れ目なく一体的かつ総合的に提供する地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの体制強化</li> <li>医師会、介護事業所等と連携した在宅医療に関わる介護職リーダーの人材育成</li> <li>認知症の人の見守り体制の強化 など</li> </ul>

#### 【重要業績評価指標 (KPI)】

指標	基準値 (年度)	目標値 (年度)	根拠資料
入院が必要な患者が居住する圏域内の病院に入院する割合	73.3% (H30年度)	78.0% (R6年度)	つがる西北五広域連合
認知症リスク高齢者の割合	50.4% (H30年度)	50.4% (R6年度)	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査